

第 1 章 今治市の概要

第一章

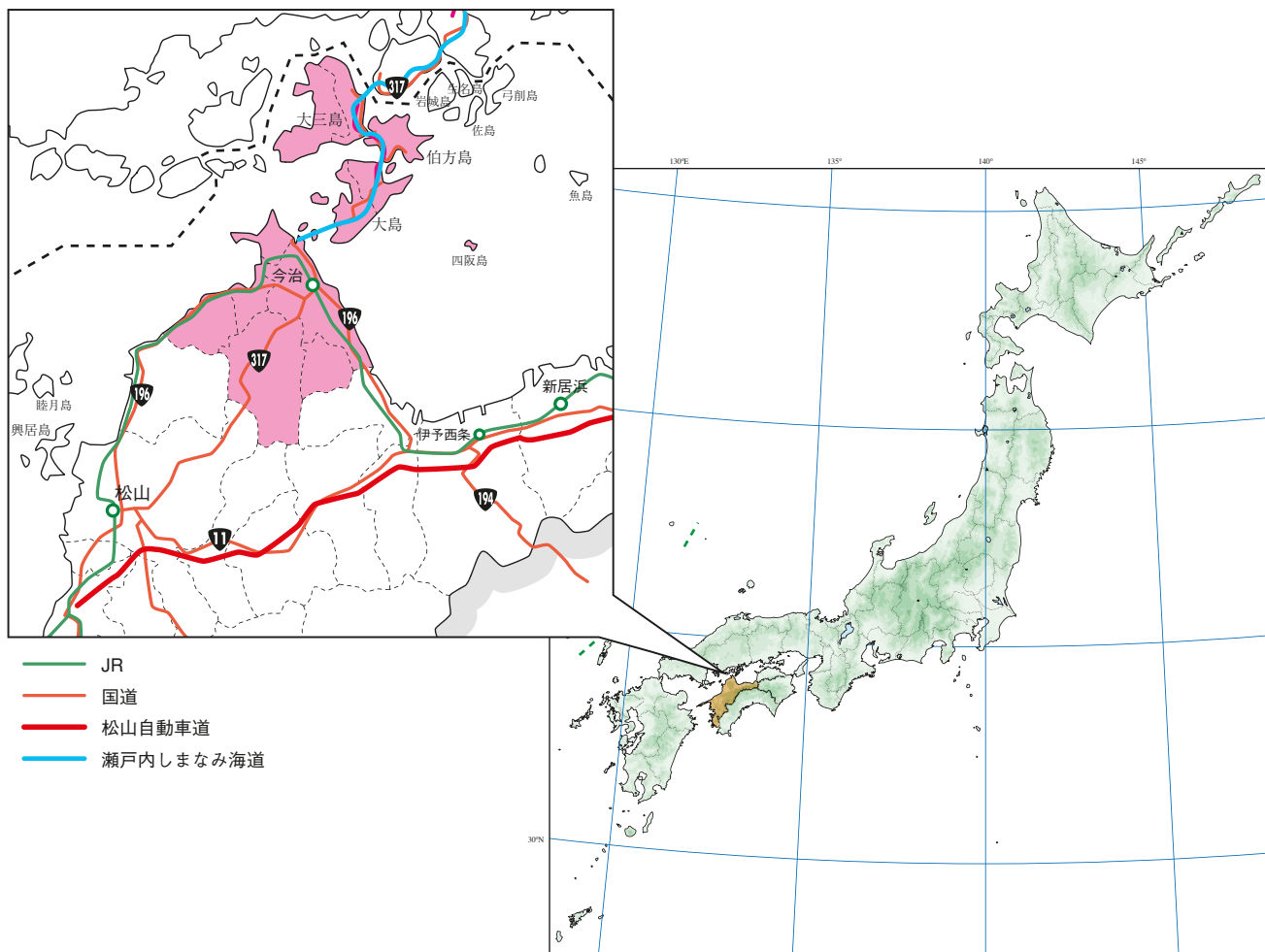
今治市の概要

位置及び地勢

今治市は、愛媛県の北東部に位置し、瀬戸内海のほぼ中央部に突出した高縄半島の東半分を占める陸地部と芸予諸島の南半分の島しょ部から構成されています。豊かな自然と美しい景観に恵まれ、日本三

大急潮の一つとして知られる来島海峡や中心市街地が位置する平野部、緑豊かな高縄山系など、変化に富んだ地勢となっています。

位 置	東 西	25km	最長径	45km (北～南)
	南 北	45km	海岸線	約341km
	東 経	132度48分(菊間町田之尻)～133度11分(宮窪町美濃島)		
	北 緯	34度17分(大三島鳥取岬)～33度54分(玉川町東三方ヶ森)		
面 積	419.21km ² (令和2年10月1日 国土地理院調)			
今治市庁の位置	東経132度59分53秒 北緯34度3分57秒			
	今治市別宮町一丁目4番地1 (今治駅北東約500m)			



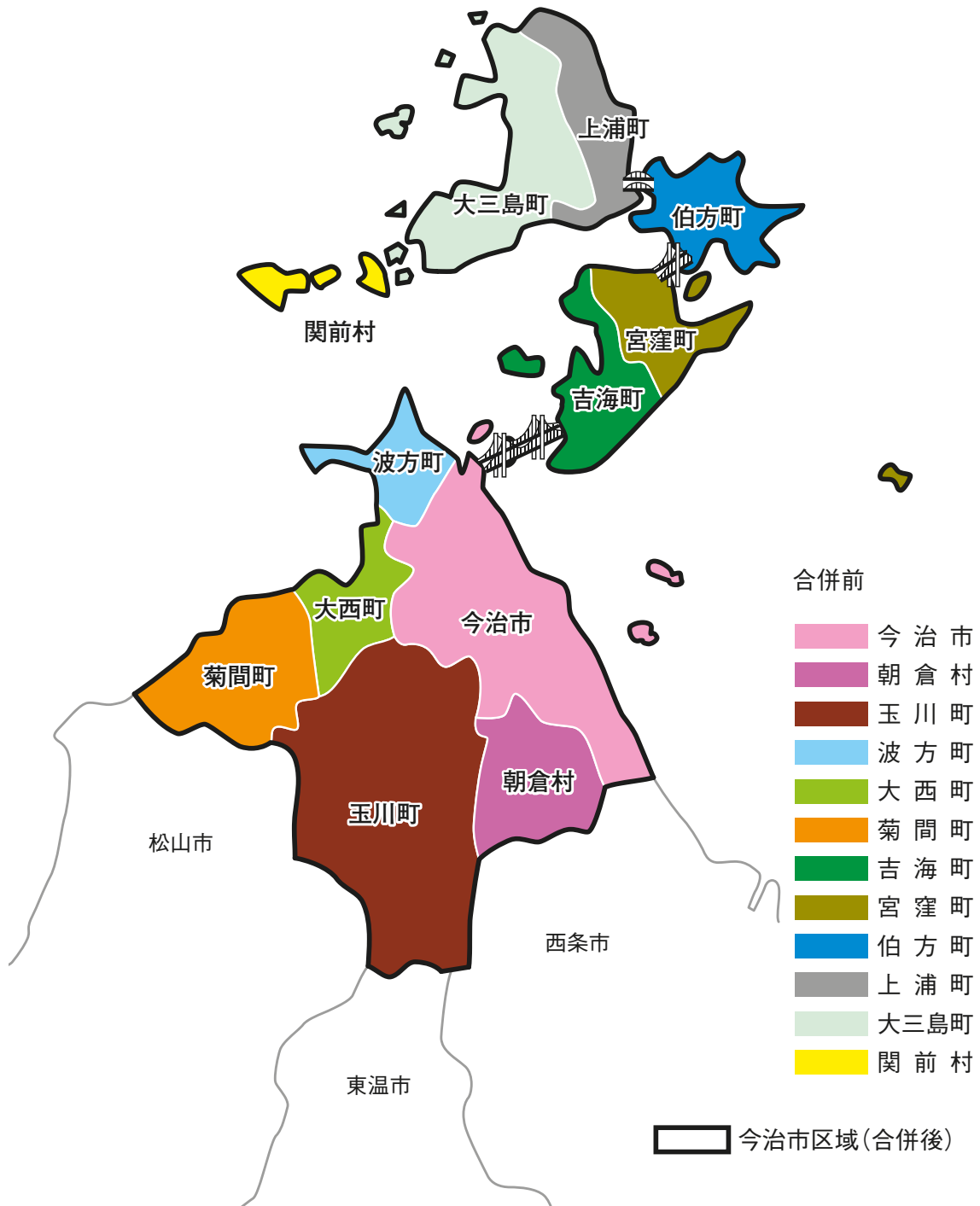
市域の変遷

今治市	
明治22年12月	今治村と今治8か町を合併及び町制施行により今治町となる。
大正9年2月11日	日吉村と合併及び市制施行により今治市となる。
昭和8年2月11日	近見村と合併する。
昭和15年1月1日	立花村と合併する。
昭和30年2月1日	桜井町、富田村、清水村、日高村、乃万村、波止浜町と合併する。
昭和30年8月1日	馬島を編入する。
平成17年1月16日	今治市、朝倉村、玉川町、波方町、大西町、菊間町、吉海町、宮窪町、伯方町、上浦町、大三島町、関前村の1市9町2村が合併する。

合併前（平成17年1月16日）の各町村の変遷

年 月 日	概 要
朝倉村	
明治22年	朝倉上村と朝倉上乃村が合併して上朝倉村となり、朝倉下村、朝倉南村、朝倉北村、古谷村、山口村が合併して下朝倉村となる。
昭和31年3月31日	上朝倉村と下朝倉村が合併して朝倉村となる。
玉川町	
昭和29年3月31日	鴨部村、鈍川村、龍岡村、九和村が合併して玉川村となる。
昭和37年4月1日	町制施行により玉川町となる。
波方町	
明治22年	波方村、樋口村、小部村、宮崎村、馬刀湯村、森上村が合併して波方村となる。
昭和35年3月1日	町制施行により波方町となる。
大西町	
明治23年	宮脇、大井浜、新町、紺原、九王が合併して大井村となり、別府、星浦、脇、山之内が合併して小西村となる。
昭和30年3月31日	大井村と小西村が合併して大西町となる。
菊間町	
明治23年4月	西山村、長坂村、浜村が合併して菊間村となる。
明治41年1月1日	町制施行により菊間町となる。
大正14年4月1日	歌仙村と合併する。
昭和30年3月31日	亀岡村と合併する。
吉海町	
昭和29年3月31日	津倉村、亀山村、渦浦村、大山村（大字早川、余所国を除く）が合併して吉海町となる。
昭和30年8月1日	大字椋名のうち馬島を今治市へ編入する。
宮窪町	
昭和27年8月1日	町制施行により宮窪町となる。
昭和29年3月31日	大山村大字早川、余所国を編入する。
伯方町	
昭和30年1月1日	西伯方村と伯方町が合併して伯方町となる。
上浦町	
明治22年12月	瀬戸村と甘崎村が合併して瀬戸崎村となる。 井口村と盛村が合併して盛口村となる。
昭和30年3月30日	瀬戸崎村と盛口村が合併して上浦村となる。
昭和39年4月1日	町制施行により上浦町となる。
大三島町	
昭和30年3月31日	鏡村と宮浦村が合併して大三島町となる。
昭和31年9月23日	岡山村と合併する。
関前村	
明治23年3月	岡村と大下村が合併して関前村となる。

今治市域（平成17年1月16日合併）



■ 気候 (2015年～2019年)

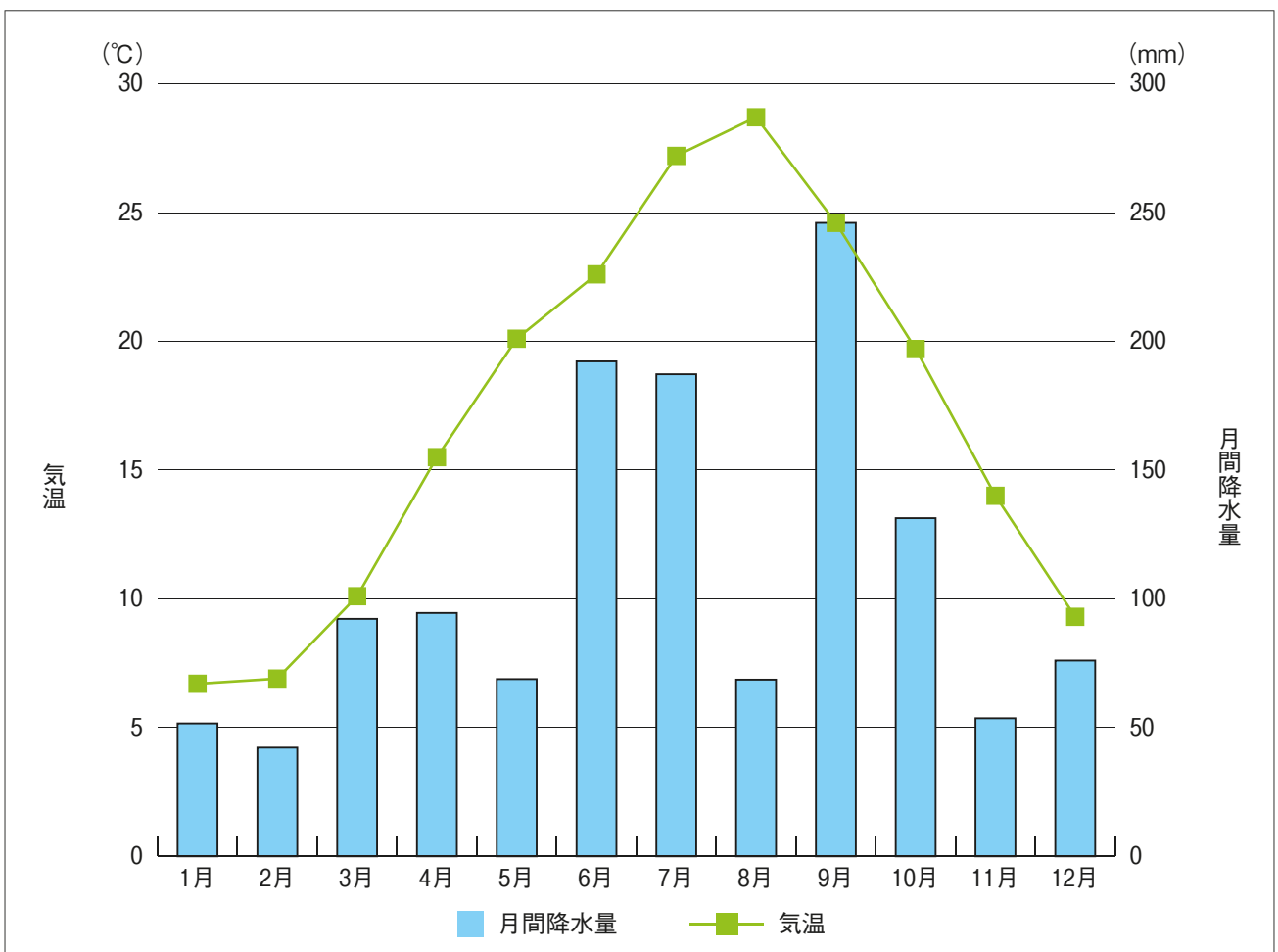
	気 温 (℃)	最 高 気 温 (℃)	最 低 気 温 (℃)	湿 度 (%)	月 間 降 水 量 (mm)	日 最 大 降 水 量 (mm)	風 速 (m/s)	最 大 瞬 間 風 速 (m/s)	降 水 日 数 (日)
1月	6.7	14.9	-0.8	69.2	51.6	27.0	3.5	22.3	6.8
2月	6.9	16.4	-0.6	68.8	42.2	16.8	3.3	20.2	7.0
3月	10.1	21.2	0.9	67.4	92.2	33.1	3.0	21.5	9.8
4月	15.5	26.6	5.5	66.5	94.5	32.9	2.7	21.7	9.8
5月	20.1	30.6	11.1	63.4	68.8	21.3	2.4	20.4	7.6
6月	22.6	31.3	14.8	73.2	192.2	52.2	2.3	18.0	12.6
7月	27.2	35.9	21.0	74.9	187.2	78.2	2.2	15.1	10.0
8月	28.7	36.7	21.1	68.6	67.6	24.5	2.6	22.6	7.2
9月	24.6	31.8	17.4	74.4	246.0	78.3	2.7	23.6	13.2
10月	19.7	30.5	10.9	70.9	131.3	40.8	3.2	21.9	9.0
11月	14.0	22.3	4.9	72.7	53.6	19.9	2.8	17.1	8.0
12月	9.3	17.4	1.6	70.7	76.0	20.1	3.1	20.3	9.6

観測場所：今治市南宝来町二丁目1番地1

資料：今治市消防本部

注) 数値は各項目の2015年から2019年の月平均

■ 気温及び月間降水量 (2015年～2019年)



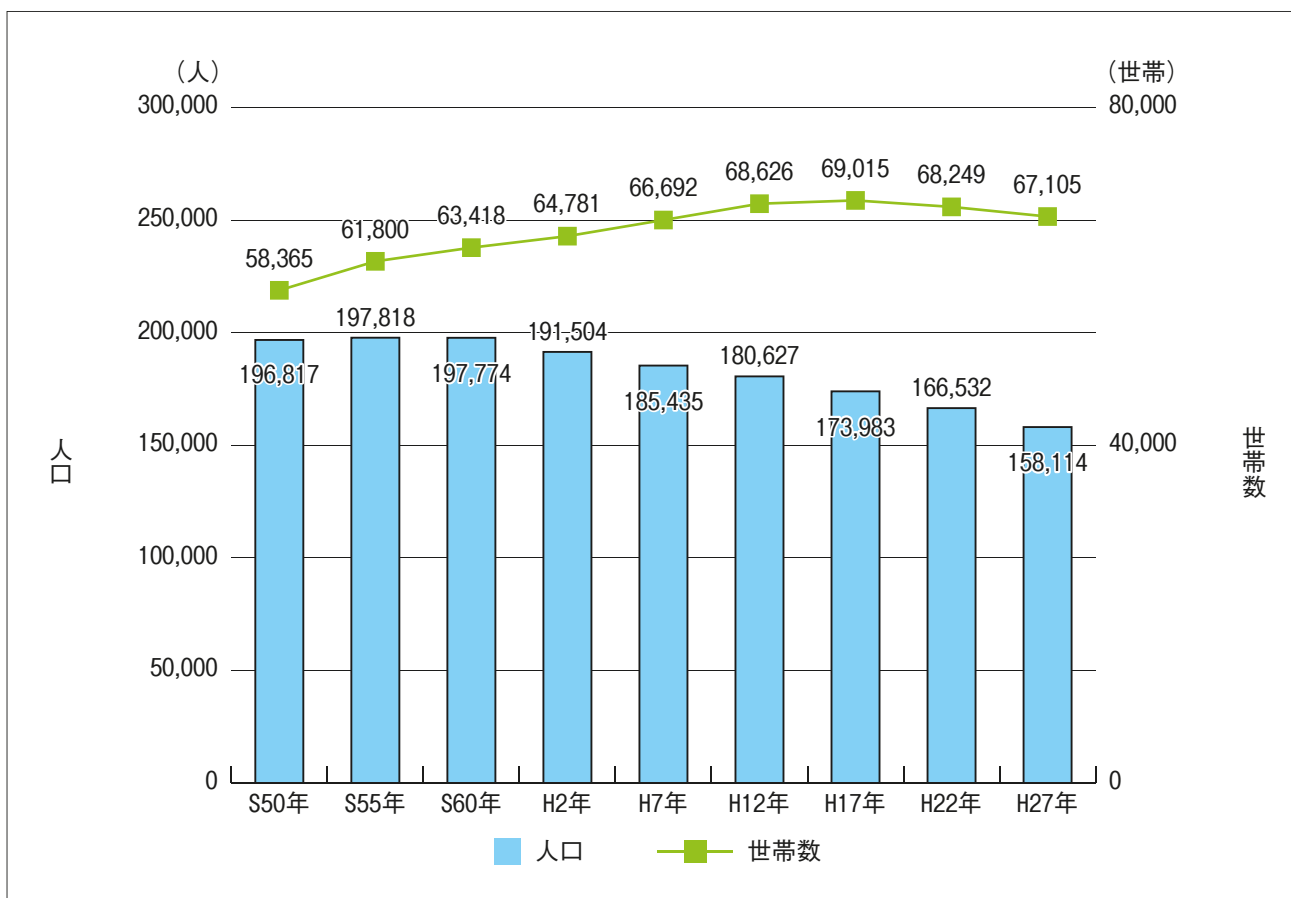
人口・世帯数

■ 人口・世帯数の推移（平成17年合併前の市町村別）

	H12		H17		H22		H27	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
	(世帯)	(人)	(世帯)	(人)	(世帯)	(人)	(世帯)	(人)
今治市	45,905	117,930	46,435	115,280	46,001	111,136	45,741	107,443
朝倉村	1,625	5,008	1,647	4,816	1,613	4,557	1,614	4,253
玉川町	1,970	6,072	1,997	5,649	2,013	5,332	1,914	4,919
波方町	3,145	9,960	3,322	9,426	3,334	9,069	3,403	8,717
大西町	2,978	8,802	3,170	8,704	3,489	8,781	3,447	8,426
菊間町	2,739	7,651	2,683	7,163	2,537	6,582	2,360	5,852
吉海町	1,959	4,799	1,873	4,399	1,759	4,049	1,654	3,540
宮窪町	1,302	3,671	1,267	3,391	1,193	3,066	1,058	2,527
伯方町	3,076	8,031	2,978	7,328	2,974	6,936	2,883	6,359
上浦町	1,552	3,606	1,509	3,385	1,439	3,088	1,340	2,734
大三島町	1,947	4,232	1,782	3,769	1,619	3,406	1,459	2,941
関前村	428	865	352	673	278	530	232	403
計	68,626	180,627	69,015	173,983	68,249	166,532	67,105	158,114

資料：国勢調査（※）

■ 人口・世帯数の推移



用語解説

国勢調査

統計法（平成19年法律第53号）第5条第2項の規定に基づいて実施する人及び世帯に関する全数調査で、国及び地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としています。

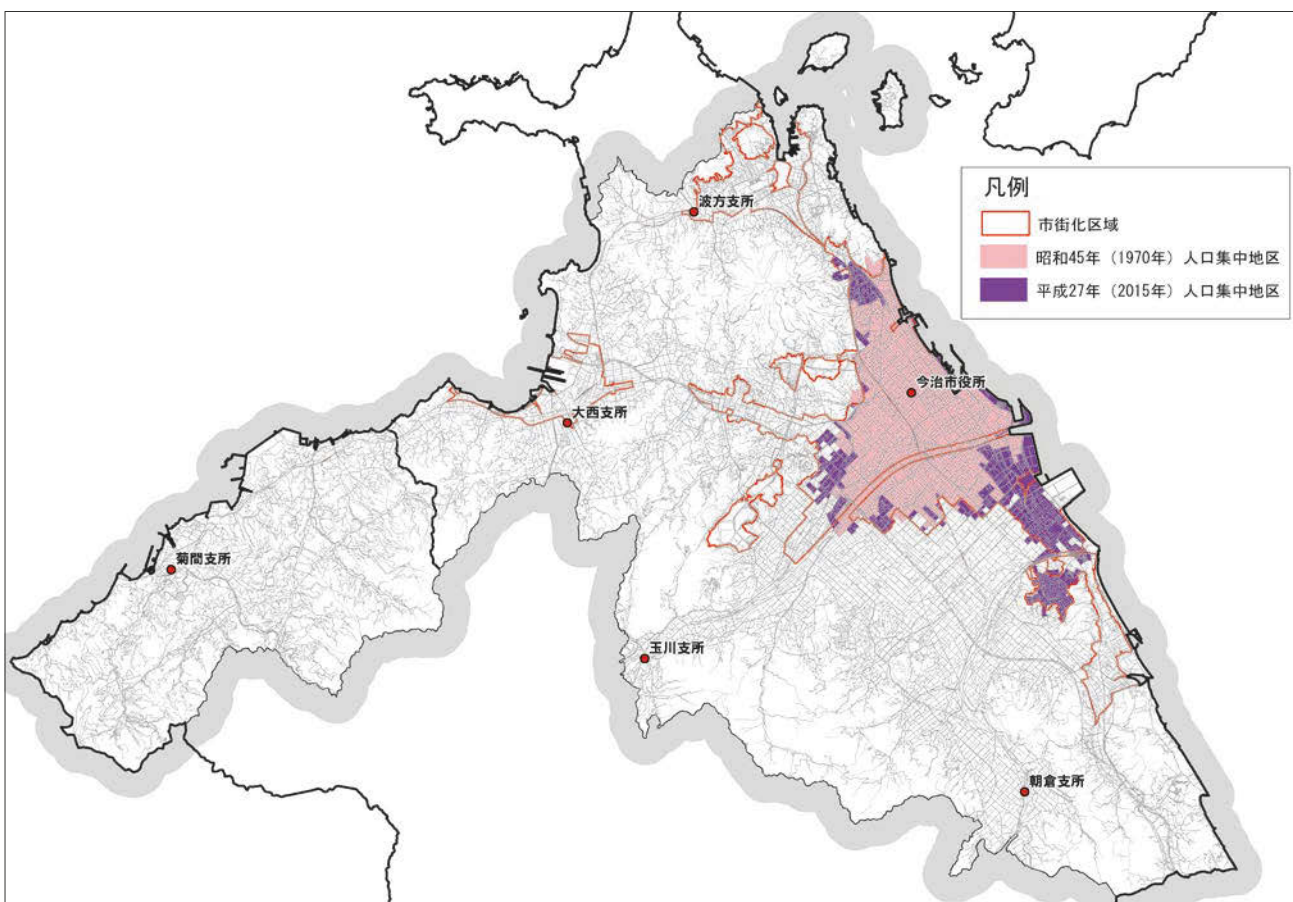
人口集中地区 (DID)※

人口集中地区 (DID) の状況

項目	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
世帯数(世帯)	18,982	20,908	22,051	22,670	25,264	26,717	27,691	27,491	26,923	26,420
人口(人)	62,634	64,051	63,091	63,171	67,762	68,307	67,003	64,685	61,807	58,795
面積(km ²)	7.8	9.8	11.0	11.5	13.9	13.7	13.8	13.8	14.0	14.0
人口密度(人/km ²)	8,030	6,536	5,736	5,493	4,875	4,986	4,855	4,687	4,415	4,200
15歳以上人口(人)	40,510	49,072	48,943	50,298	55,497	57,050	57,152	55,513	53,349	50,916

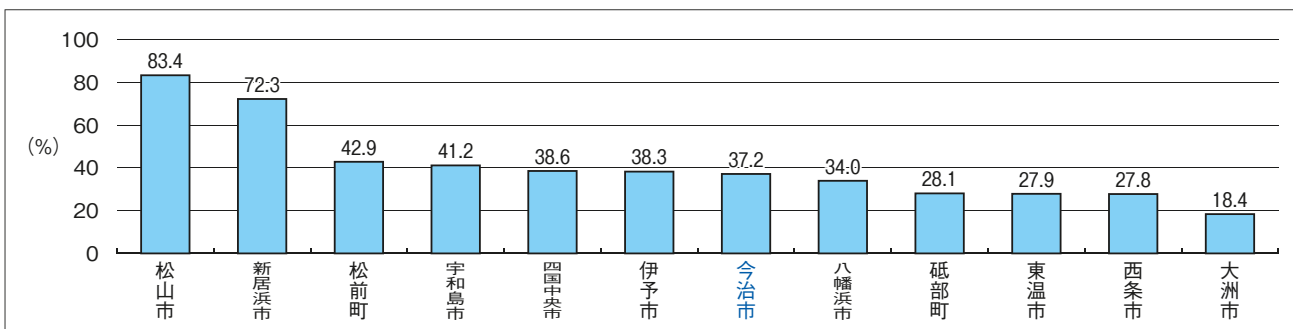
資料：国勢調査

DID の変遷



資料：国勢調査

愛媛県下の DID 内人口比率※ (平成27年)



資料：国勢調査

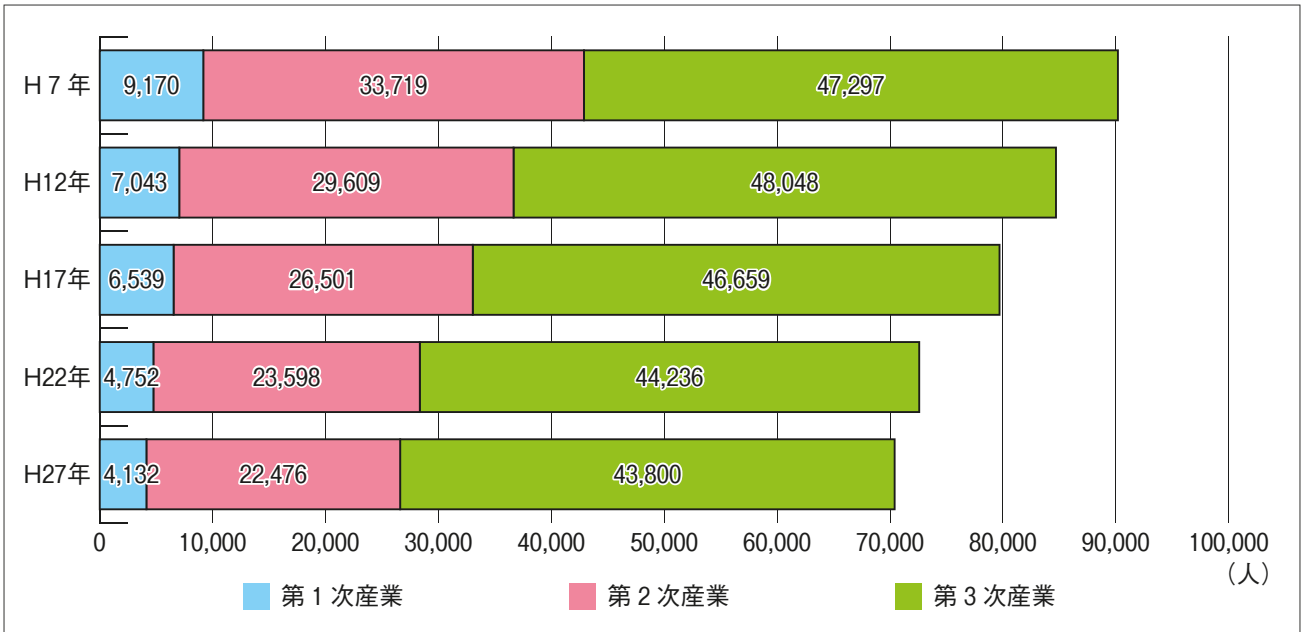
用語解説

人口集中地区 (DID) Densely Inhabited District の略で、国勢調査により設定される人口密度が1 km²あたり4,000人以上の区域が連担し、人口5,000人以上居住している区域のことです。

DID 内人口比率 総人口に対する DID 人口

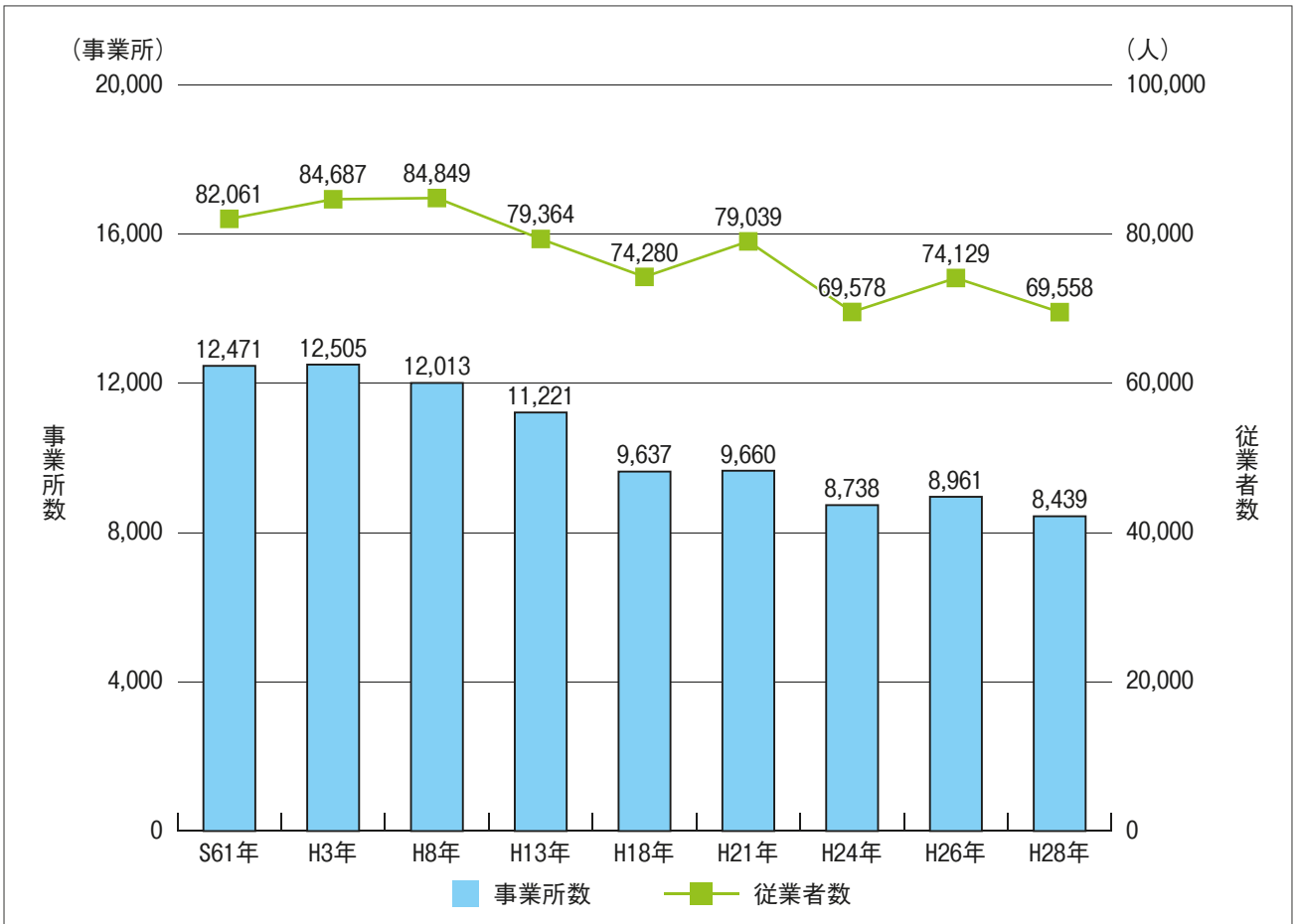
産業

産業別就業人口の推移



資料：国勢調査

事業所、従業者数の推移



資料：事業所・企業統計調査（昭和61年～平成18年）、経済センサス（平成21年・26年は基礎調査、平成24年・28年は活動調査）